

鈴木商店と神戸の歴史・文化を再発見



～ 鈴木商店の歴史と双日株式会社の取り組み ～

鈴木商店の歴史 ～神戸から世界へ～

1874年 「カネ辰鈴木商店」を洋糖引取商として神戸・弁天浜に創業

1917年 売上高・日本一の総合商社になる

1918年 米騒動により本店焼き打ち

1919年 GNPの10%に相当する年商

1927年 第一次大戦後の反動不況、関東大震災など相次ぐ外部環境の悪化で破綻



破綻後も鈴木商店を源流とする多数の企業が各分野で活躍
(双日・神戸製鋼所・帝人・太陽鋳工など)

鈴木商店に関する双日株式会社の取り組み

2023年

○4月 鈴木商店を題材とした舞台

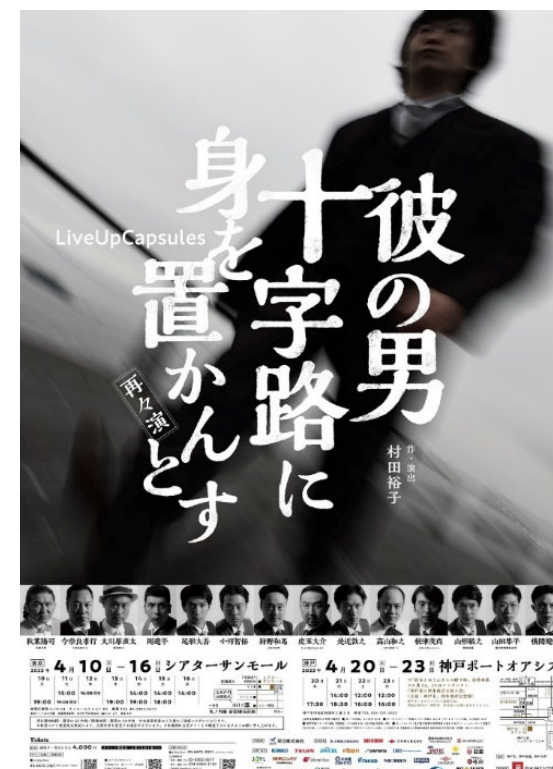
「彼の男十字路に身を置かんとす」を特別支援

▶ 神戸市他、鈴木ゆかりの関係先30団体が協力

○協賛・協力団体とともに招待事業

「鈴木よねさんからの贈り物」

▶ 神戸市を通じ、教育・港湾関係者、
観光ボランティア156名※を招待
(※神戸開港156年)



鈴木商店に関する双日株式会社の取り組み

2022年

○4月 エキソアレ西神中央に鈴木商店のパネル展示を常設

○8月 双日歴史マンガを、俳優 竹下景子さんを通じ、
こども本の森 神戸、市立図書館に寄贈



～ 神戸市による鈴木商店関連事業 ～

鈴木商店を伝える神戸市の取り組み

2017年

- ・ モニュメント設置(本店跡地) / “鈴木商店”企画展(KIITO)を開催
※神戸開港150年記念事業

2017年~2019年

- ・ 鈴木商店をテーマに勉強会やシンポジウムを開催



モニュメント(鈴木商店跡地)

2023年 舞台演劇を契機に新たな取り組みを展開

- 神戸港と鈴木商店を語る会
- 鈴木商店ゆかりのまち歩き
- ゆかりの資料 / 図書の展示

神戸港と鈴木商店を語る会 (2023/4/22・23)

○場 所 神戸ポートオアシス

○共 催 辰巳会 鈴木商店記念館 (鈴木商店関連企業が支援)

○内 容 基調講演・パネルディスカッションなど



◀2019年（令和元年）講演会の様子
テーマ：港神戸の発展に貢献した総合商社の源流・鈴木商店
講師：村田裕子氏（脚本家）

鈴木商店ゆかりのまち歩き

○場 所 神戸市中央区内（旧居留地・栄町など）

○内 容 市立神港橘高校※の生徒がまとめたガイドブックを
もとにした市民参加型のまち歩きイベント

※神港橘高校の前身の一つとなる「神戸市立女子商業学校」に鈴木よねが学校運営費など支援



ガイドブック作成のため鈴木商店を学ぶ生徒



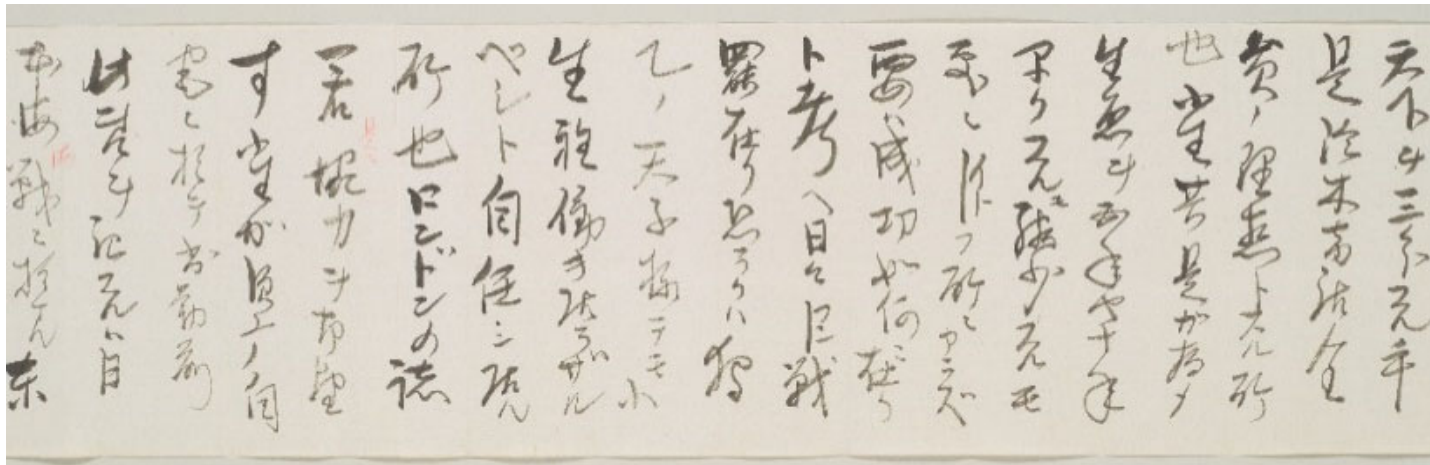
鈴木商店本店跡地モニュメントを見学

ゆかりの資料・図書の展示① (神戸市立博物館)

○日 程 2023年4月～5月

○内 容 「金子直吉書簡」(天下三分之計)

「船鉄交換契約記念時計」 など



「金子直吉書簡」(天下三分之計)/1917年(大正6年)11月1日
太陽鋳工株式会社蔵・神戸市立博物館寄託

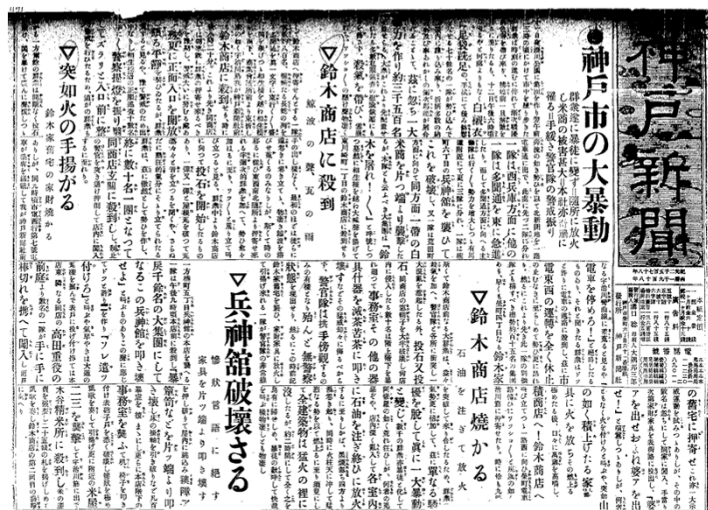


「船鉄交換契約記念時計」/1918年(大正7年)
太陽鋳工株式会社蔵・神戸市立博物館寄託

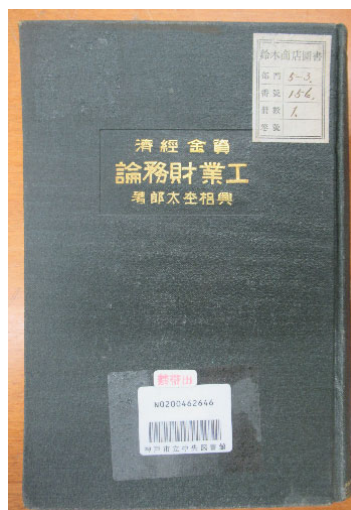
ゆかりの資料・図書展示② (三宮図書館)

○日 程 2023年4月～5月

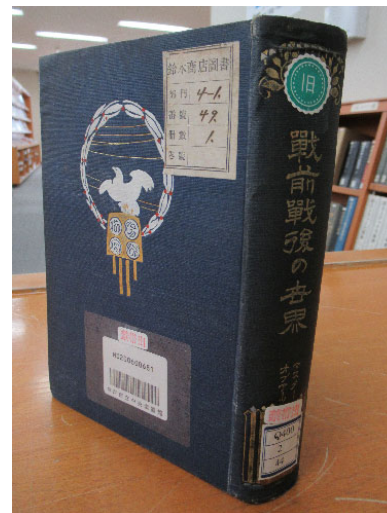
○内 容 鈴木商店関連図書や新聞記事(当時)の紹介
鈴木よねの寄贈本や金子直吉ゆかりの本の展示 など



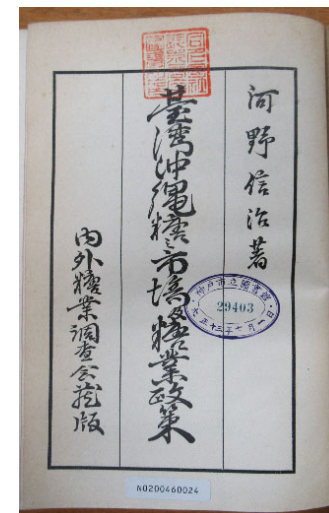
大正7年8月13日 本店焼き討ちを報じる神戸新聞



(左)資金経済工業財務論/興梠李太郎/1918年(大正7年)



(中央)戦前戦後の世界/大島高精/1921年(大正10年)



(右)台湾沖繩糖之市場及糖業政策/河野信治/1922年(大正11年)

神戸で創業し近現代の我が国産業に革命を起こした

鈴木商店の開拓精神を伝えてまいります

